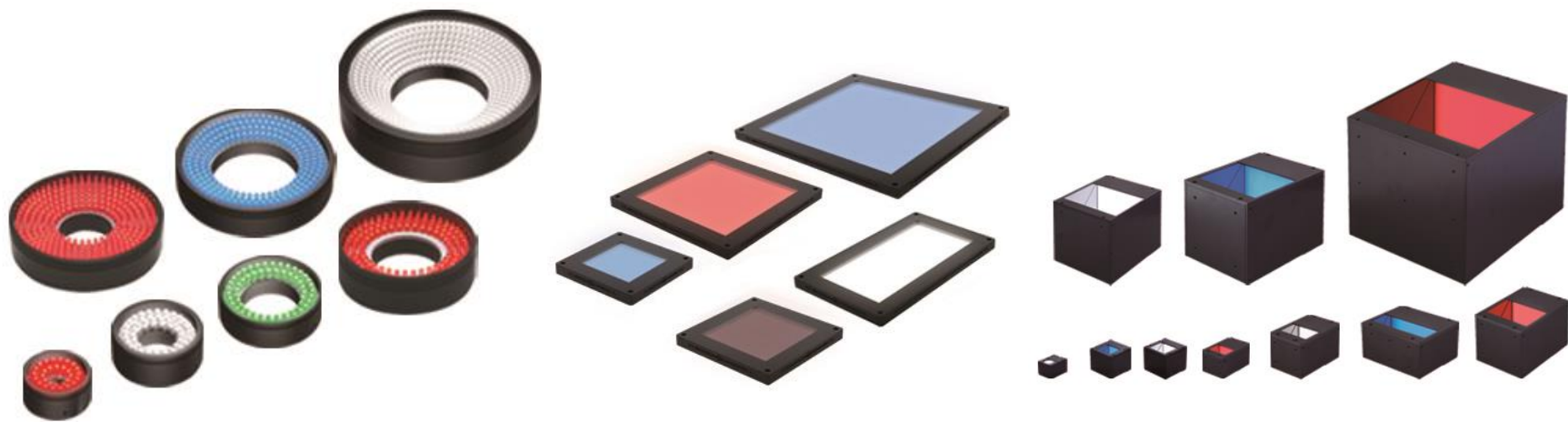




会社説明資料

2017年9月6日
シーシーエス株式会社
(JASDAQ 6669)

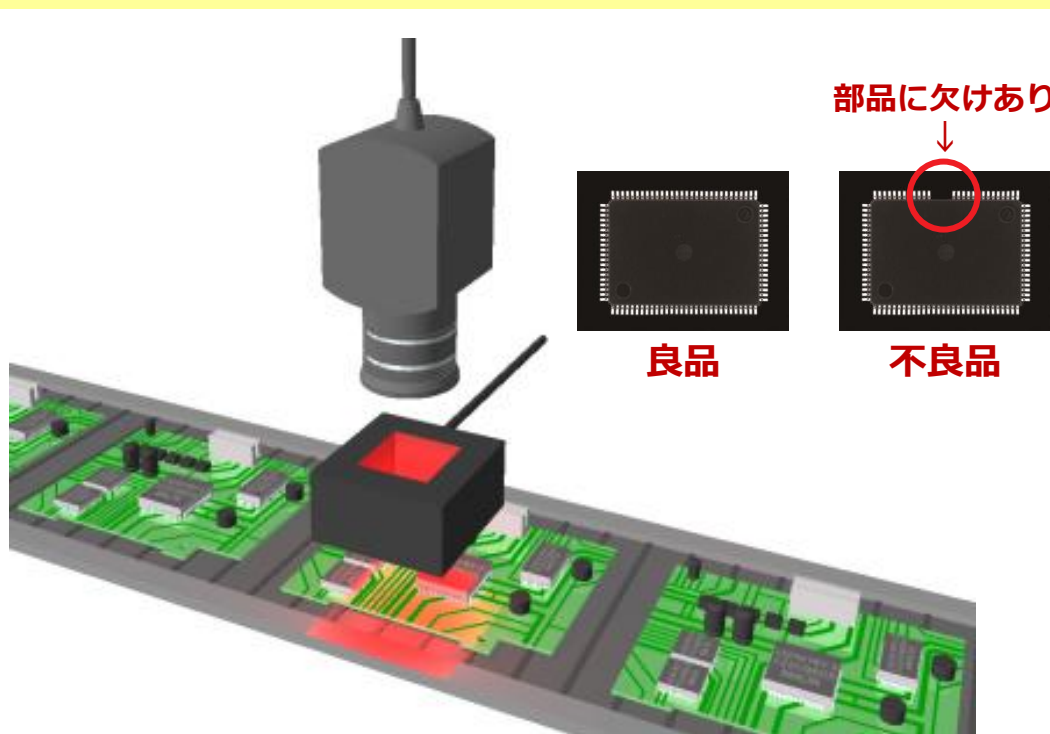
CCS は、
1993年設立で、
LEDを活用した
検査用照明メーカーです。



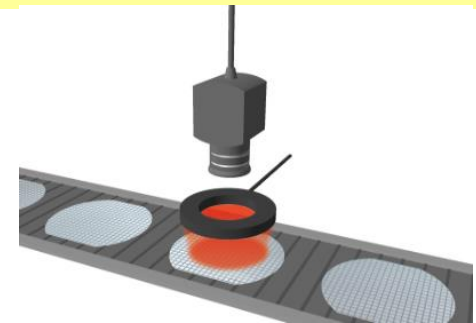
※ 画像処理用の照明として利用されることから、MV（マシンビジョン）照明とも言います。 2

検査用照明ってなに？

工場で何かを生産する場合は、各工程ごとに必ず「検査」のプロセスがあり、検査対象物を照明（と電源）、レンズ・カメラを使って撮像し、画像を基に「良品 or 不良品」の判定を行います。



プリント基板の実装部品欠陥検査



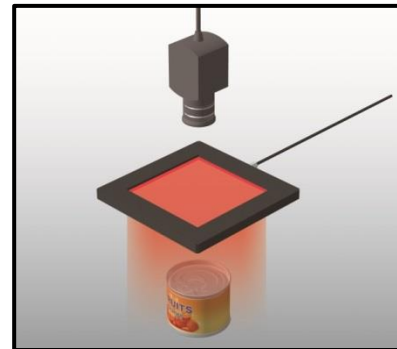
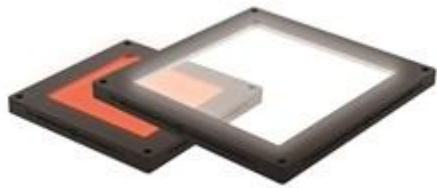
ウェハーのチリ/ホコリ撮像



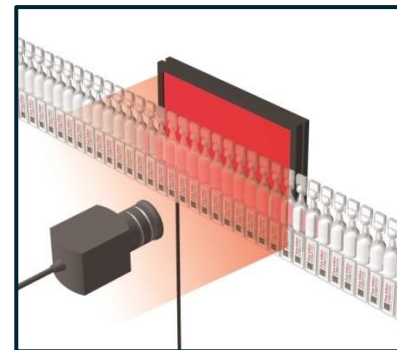
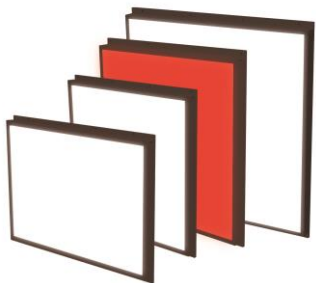
ガラスビンの刻印撮像

撮像事例

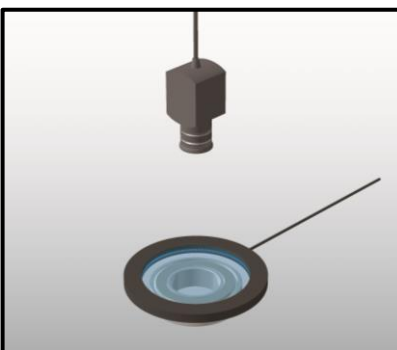
缶詰表面の汚れ撮像



点眼薬の液面撮像



ベアリングの刻印文字撮像



CCSの強み

- ・ 過去から蓄積してきた5万件以上の撮像実績
- ・ 約1万機種のカスタム照明の設計・開発・製作
- ・ 数百種類、1万台以上に及ぶ無料貸出機を配備
- ・ エリア実験室、ラインセンサ用実験室を完備し、
レンズやカメラも含めた**トータルソリューションを提案**



エリア実験室



ラインセンサ用実験室

CCSの MV(検査用照明)事業

- ・ LED検査用照明（と電源）のパイオニア
- ・ 連結売上高の約9割を占め、国内外でTOPシェア

国内シェア : 約 **40%**

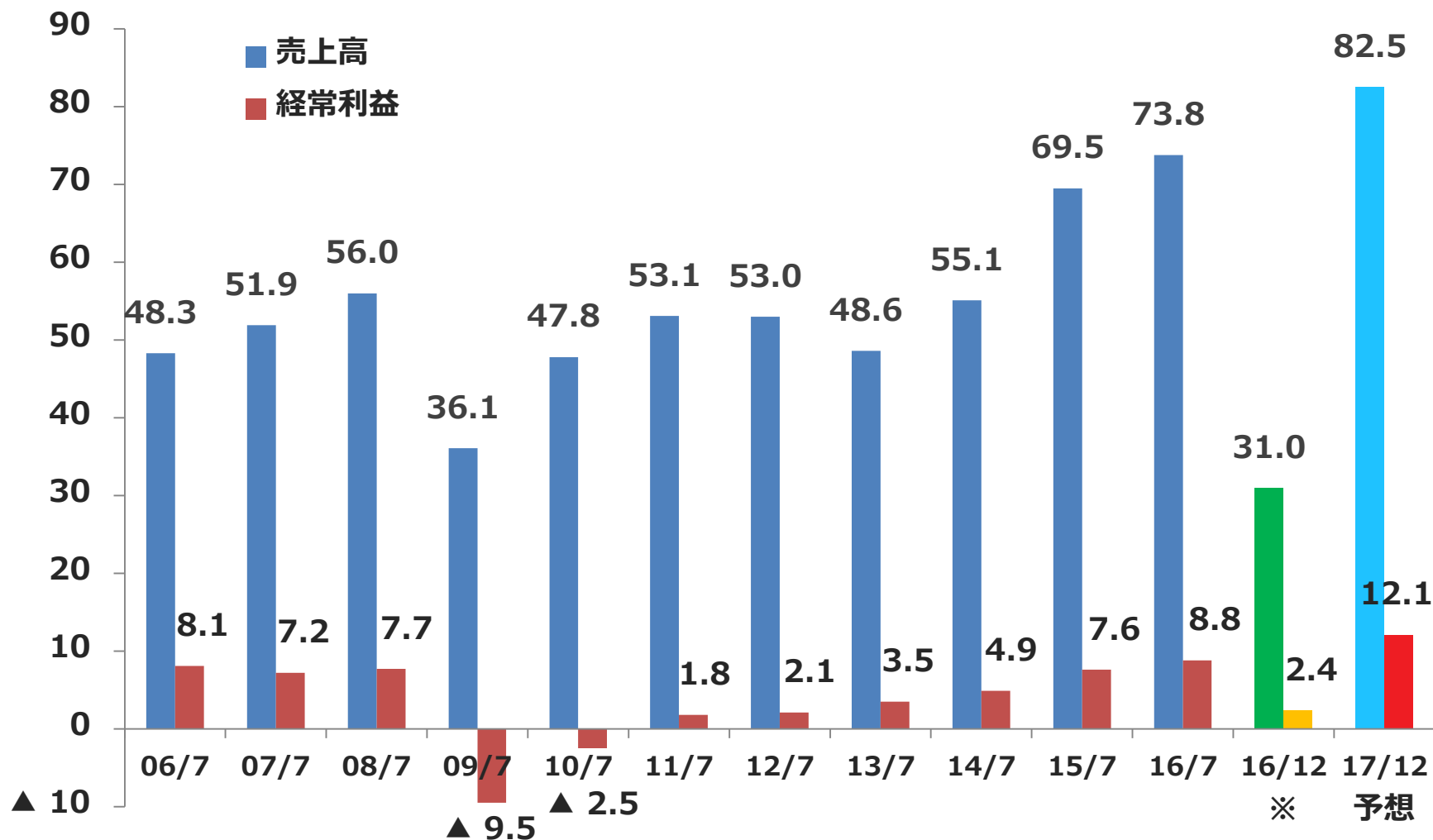
海外シェア(※) : 約 **20%**

※ 海外シェアは、日本を除いた全地域のシェア

売上高と経常利益の推移

(単位：億円)

～今期は、過去最高益を大幅に更新する見込み



※ 決算期の変更に伴い、2016年12月期は5ヶ月（8月～12月）の変則決算

CCSの 事業内容

新規事業

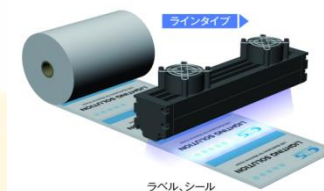
LED検査用照明

マシンビジョン用照明

(エリア照明・ラインセンサ用照明)



■ UVインクの硬化



自然光LED



UVビジネス

美術館・博物館
ビジネス



メディカルビジネス



アグリバイオ
ビジネス



デバイスビジネス

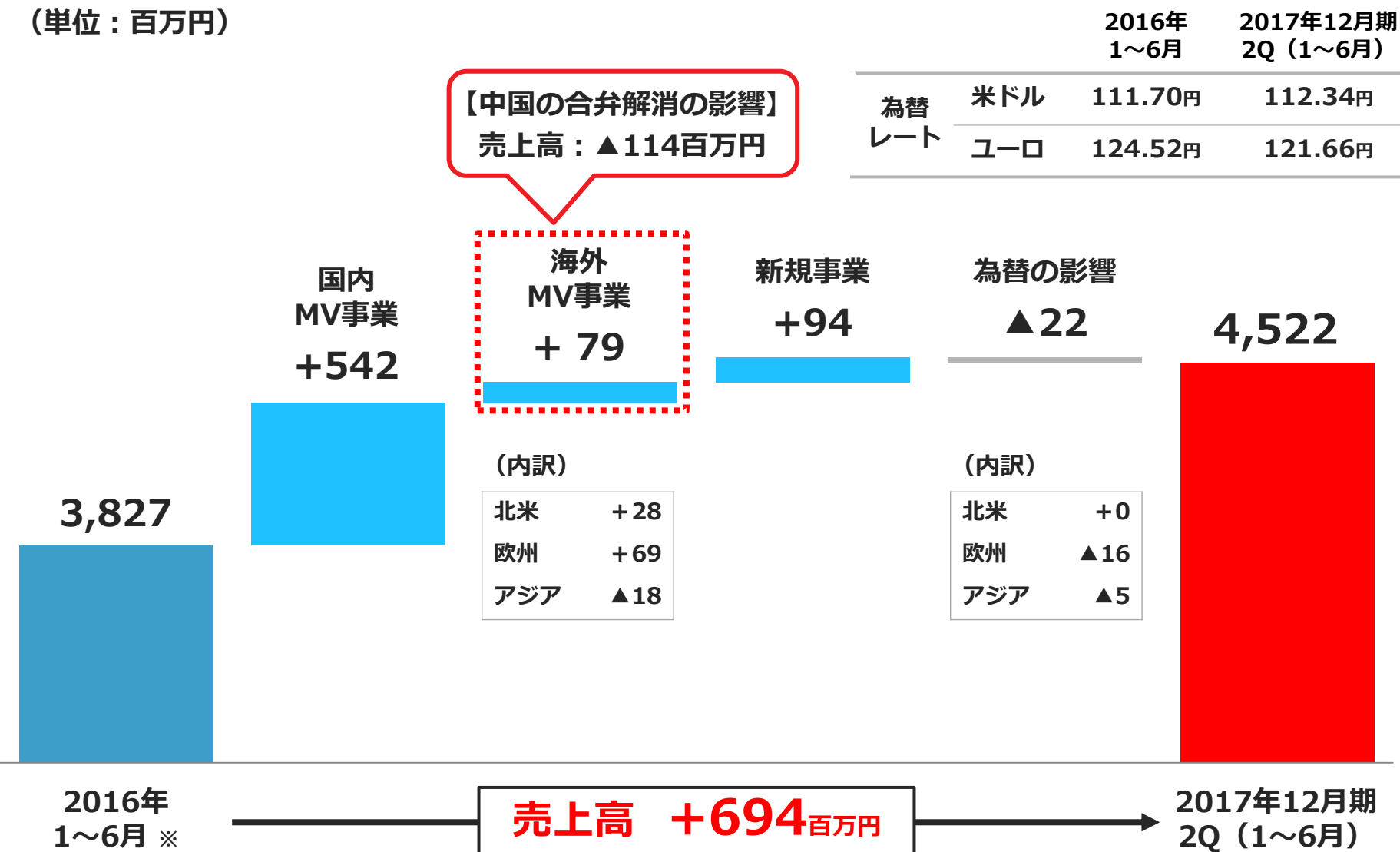


2017年12月期 2Q決算の概要

- ・ 売上高は、前年同期間比で **+18.2%** と好調に拡大。
- ・ 営業利益は、前年同期間比で **+26.7%** と大幅に増加。
- ・ 決算処理による費用を除いて前年同期間と基準を揃えれば、営業利益は **+46.9%** 増益。

売上高の増減要因

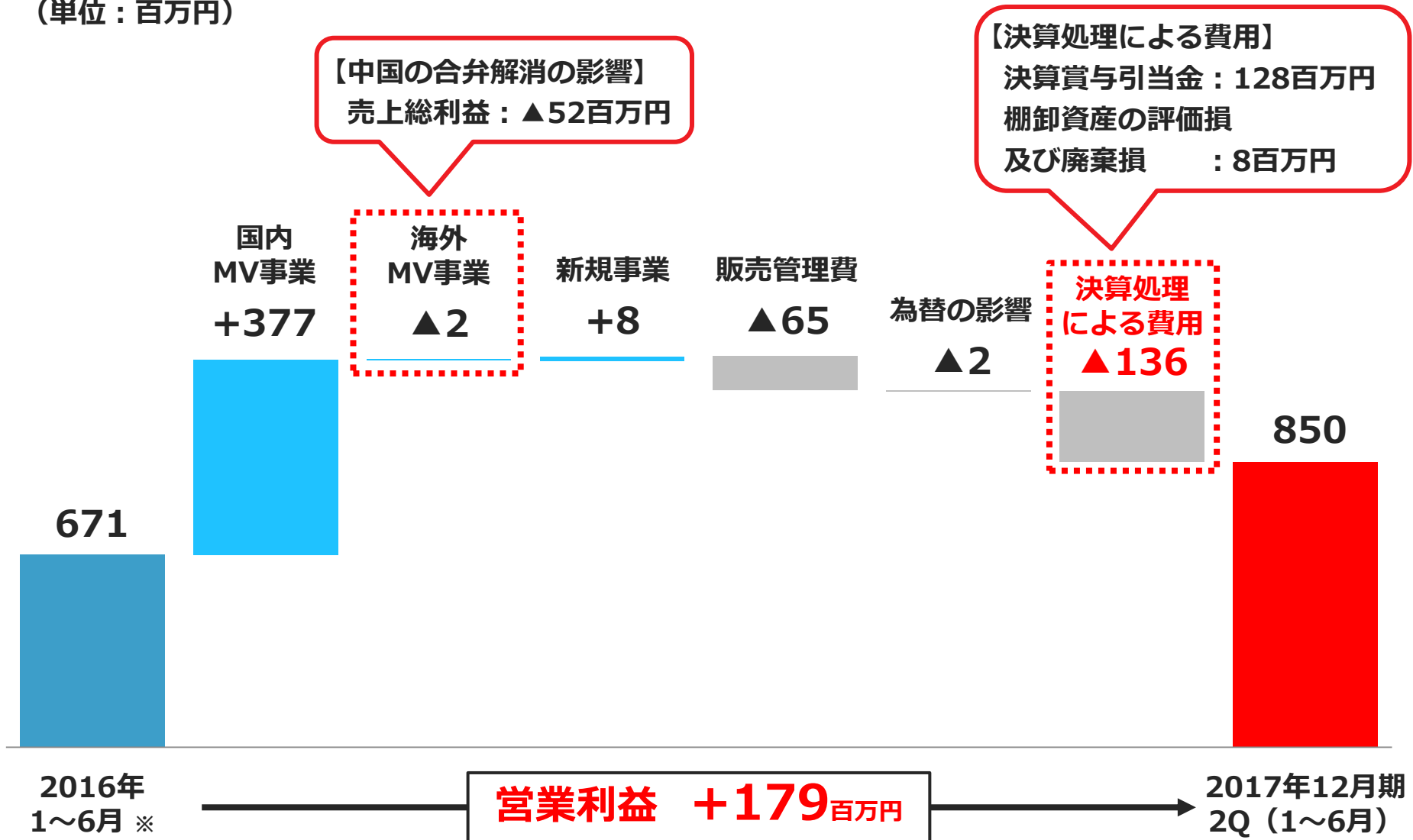
(単位：百万円)



※ 2016年1月~6月の月次実績の単純合算

営業利益の増減要因

(単位：百万円)



※ 2016年1月~6月の月次実績の単純合算

国内MV事業

売上高 **2,553** 百万円

前年同期間比 **27** %増

- ・ 電子・電気・半導体業界向けを含め、全般的に好調
- ・ ソリューション提案の強化や実験室の増設などの顧客密着営業の強化
 - ソリューション販売が大幅に拡大

海外MV事業

売上高 **1,517** 百万円

前年同期間比 **4** %増

中国での合弁解消の影響を除いた基準での伸び率

海外MV合計 **14%** (欧州 **8%** , 北米 **8%** , アジア **39%**)

【欧 州】 大手顧客向けの売上が継続

【北 米】 スマホ向けの大口案件が売上に寄与

【アジア】 マレーシアでの売上増加、中国での合弁解消により売上減少

新規事業

売上高 **451** 百万円

前年同期間比 **27** %増

- ・ アグリバイオ（植物工場向け）の大型案件が売上に寄与
- ・ 市場が急拡大しているUV（紫外）照射器ビジネスを
当社の収益の柱に育成すべく研究開発と人材の拡充に注力

連結業績の見通し

(単位：百万円)

	16年7月期 (15/8~16/7) 実績	16年12月期 (16/8~16/12) 実績 ※1	17年12月期 (17/1~17/12) 期初予想 ※2	17年12月期 (17/1~17/12) 修正予想 ※2	増減額 (増減率)
売上高	7,376	3,103	8,100	8,250	+150 (+1.9%)
営業利益 売上高比	904 12.3%	258 8.3%	930 11.5%	1,230 14.9%	+300 (+32.3%)
経常利益 売上高比	880 11.9%	236 7.6%	910 11.2%	1,210 14.7%	+300 (+33.0%)
親会社株主に帰属 する当期純利益 売上高比	615 8.3%	150 4.8%	620 7.7%	810 9.8%	+190 (+30.6%)
為替 レート	米ドル	115.18円	106.25円	100.00円	110.00円
	ユーロ	127.78円	116.25円	110.00円	120.00円

※1 決算期の変更に伴い、2016年12月期は5ヶ月（8月～12月）の変則決算

※2 前回予想は2017年2月8日公表、今回予想は2017年6月20日公表

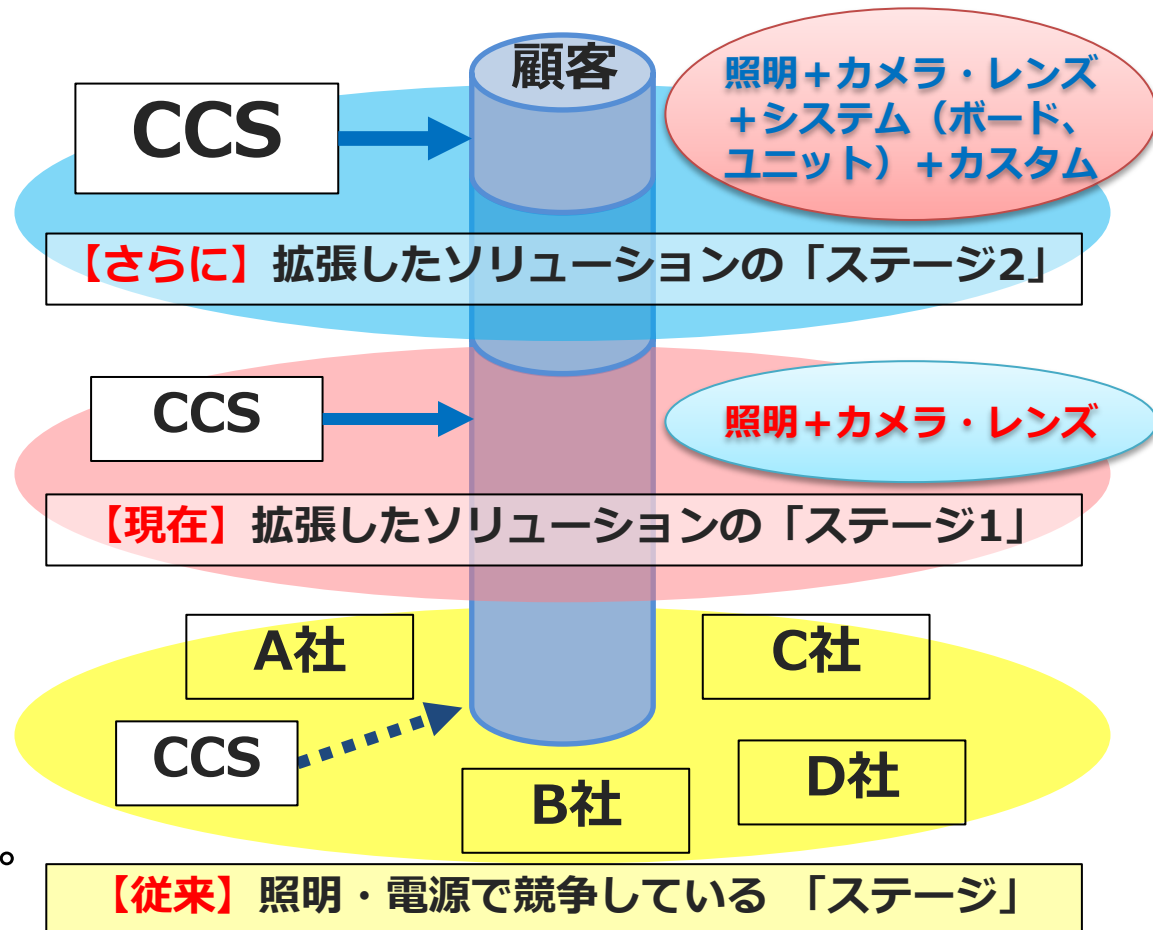
MV事業戦略

お客様は、照明・電源が欲しい訳ではなく

「見える！」 が欲しい

レンズ、カメラ、… etc.とソリューションを拡張し、
顧客への提案「ステージ」を上げ
競合との差別化を推進

CCSは、SEや技術、戦略推進など、他社に無い強力な人材によりこれを実現できる基盤を持つ。



中国での事業戦略

2017年6月

CCSが100%出資する子会社
「CCS China」 を中国に設立

- ・ 中国の現地ニーズに素早く対応するため

「CCS China」ブランド立ち上げ

- ・ 低価格の「CCS China」ブランドと
高品質の「CCS」ブランドの複数ブランドを展開する

マルチブランド戦略

欧米での事業戦略

現地での売上高とシェア拡大のために
代理店頼みのビジネスモデルからの脱却

“今期・来期のテーマ”

1. 顧客密着型

- ・ 営業体制（人員）の強化
- ・ 拠点（実験室）の拡充
- ・ エンドユーザーとの関係を構築

2. ソリューション提案

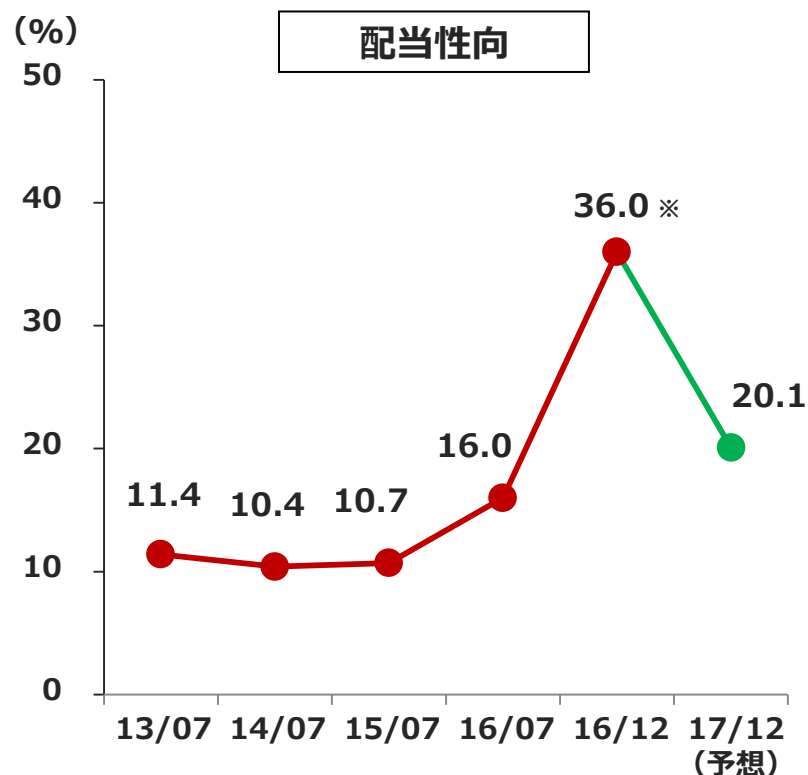
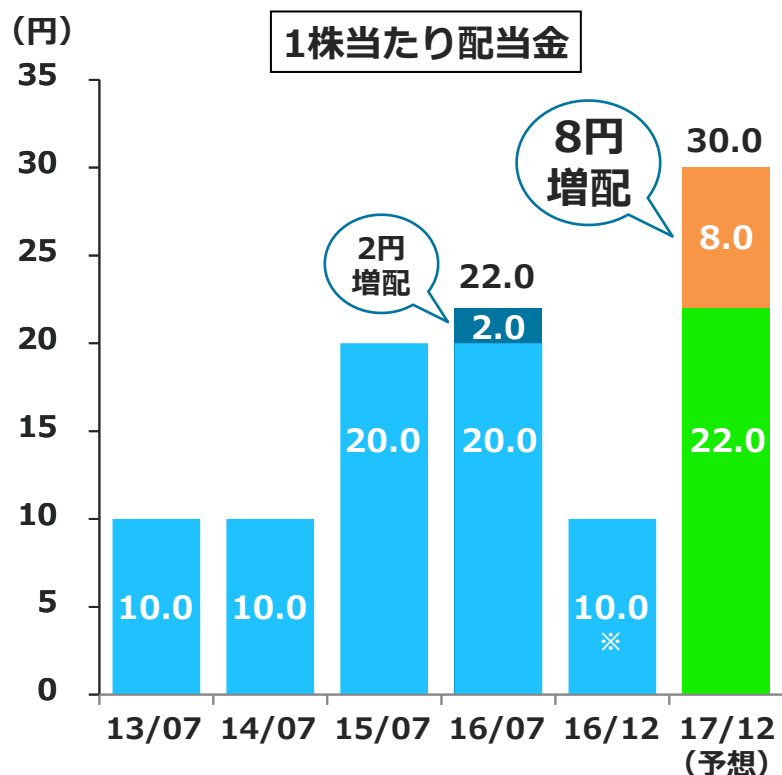
- ・ 現地で特注対応ができる開発体制を構築
- ・ 現地のローカルブランド立ち上げ

株主還元

- ・ 2015年9月に業績連動型配当政策を導入、連結配当性向20～30%が目標

※ 2016年12月期は5ヶ月の変則決算となるため、配当金は前期実績の期間按分から算出しております。

- ・ **通期業績予想の修正を踏まえ、今期の配当金を1株当たり8円増配し30円に修正**



- ・ 2014年2月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。1株当たり配当金は、当該株式分割に伴う影響を加味し、過去に遡って修正した数値を記載しております。
- ・ 2016年5月2日にA種優先株式が普通株式に転換された結果、普通株式が1,279,829株増加しております。



補足資料

会社概要

商号	シーシーエス株式会社
本社所在地	京都府京都市上京区烏丸通下立売上ル桜鶴円町374
設立	1993年10月
資本金	462百万円
代表者	代表取締役社長 大西 浩之
従業員数	連結：271名（38名） 単体：235名（31名） 注：外書き（）内は臨時従業員数
事業内容	LED検査用照明及び電源の製造販売、新規事業
発行済株式総数	5,417,829株
株主数	2,107名
主な連結子会社	CCS America, Inc. / CCS Asia PTE.LTD. / CCS Europe N.V.
拠点	国内 10ヶ所 京都本社、生産センター、開発センター、光技術研究所、東京、名古屋、仙台、本厚木、金沢、守山、淀屋橋
	海外 11ヶ所 ボストン、エル・パソ、サンノゼ、ベルギー、シンガポール、タイ、マレーシア、韓国、上海、深圳、台湾（主な連結子会社含む）

※ 2017年6月30日現在

沿革

1993	10月	シーシーエス株式会社設立
1999	9月	CCS America, Inc.を設立
2000	5月	東京営業所を開設
2003	9月	上海駐在員事務所を開設
2004	6月	日本証券業協会に株式を店頭登録
	9月	RDV (S) PTE LTD社（現 CCS Asia PTE.LTD）を子会社化
	11月	CCS Europe NVを設立
	12月	日本証券業協会への店頭登録を取消し、ジャスダック証券取引所（現 東京証券取引所JASDAQ市場）に上場
2007	7月	生産センターを開設
	11月	仙台 テスティングルームを開設
2008	1月	光技術研究所を開設
	3月	深圳駐在事務所を開設
	8月	名古屋営業所を開設
2010	12月	CCS Asia PTE.LTD. バンコク駐在員事務所を開設
2011	5月	CCS-ELUX LIGHTING ENGINEERING PVD.LTD.を設立
2013	10月	台湾駐在員事務所を開設
2014	1月	東莞鋭視光電科技有限公司（Rsee）を設立
	9月	CCS America, Inc. エル・パソ テキサス テスティングルームを開設 金沢 テスティングルームを開設、 守山 テスティングルームを開設
2015	10月	CCS America, Inc. サンノゼ テスティングルームを開設
		本厚木 テスティングルームを開設、 淀屋橋 テスティングルームを開設
2016	5月	オプテックス株式会社（現 オプテックスグループ株式会社）による公開買付けにより同社の子会社となる
	8月	決算期を7月から12月に変更
	9月	CCS Asia PTE.LTD. マレーシア駐在員事務所を開設
	11月	韓国 テスティングルームを開設
2017	5月	開発センターを開設
	6月	東莞鋭視光電科技有限公司（Rsee）の当社出資持分を譲渡 晰写速光学（深圳）有限公司（CCS China Inc.）を設立

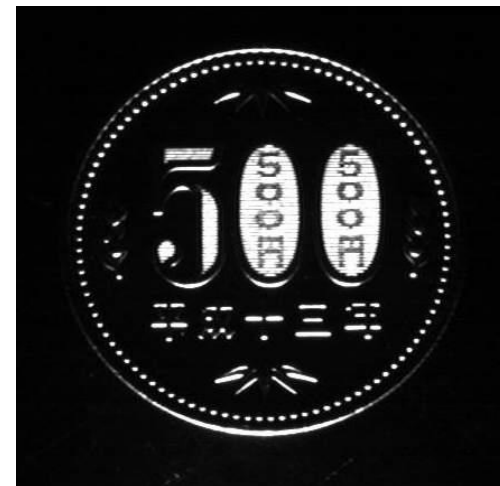
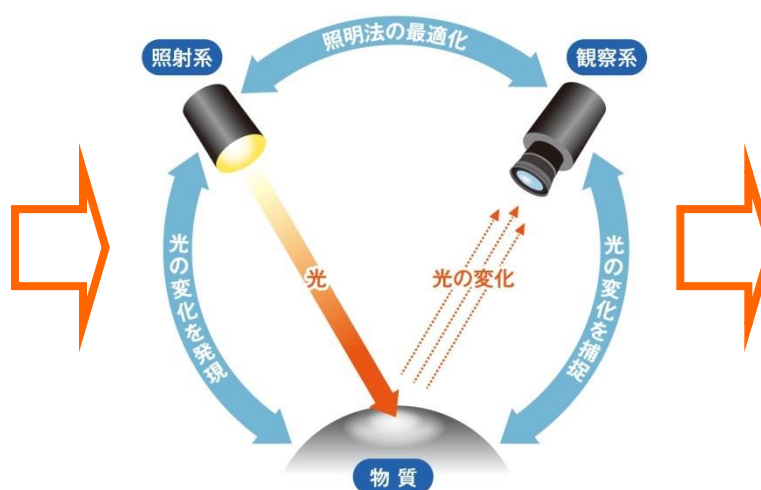
ライティングソリューション

<照明法の最適化>



※ 流通している硬貨。

実際に検査しているものではありません。



伝搬方向を最適化
見えなかった、
500円の文字を抽出。

同じ対象物でも見え方が全く異なります。
この光の選び方が、技術・ノウハウである

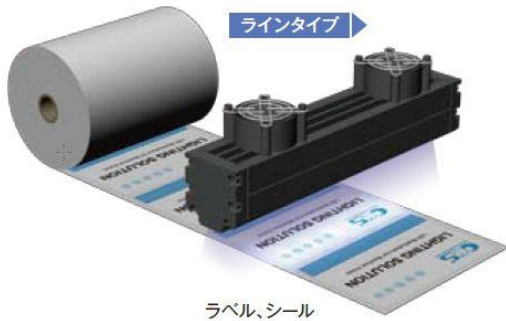
「ライティングソリューション」 です。

UVビジネス ～ UV照射器 ～

■ UV照射器の用途

ラベル・シールのインク硬化

■ UVインクの硬化



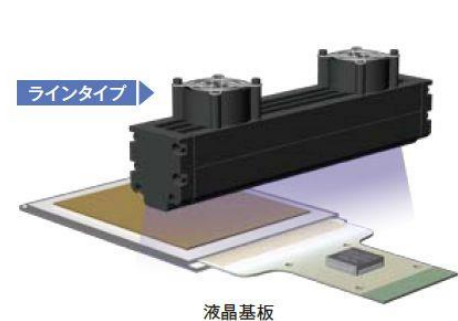
パネルなどの接着・封止

■ パネルの貼り合わせ



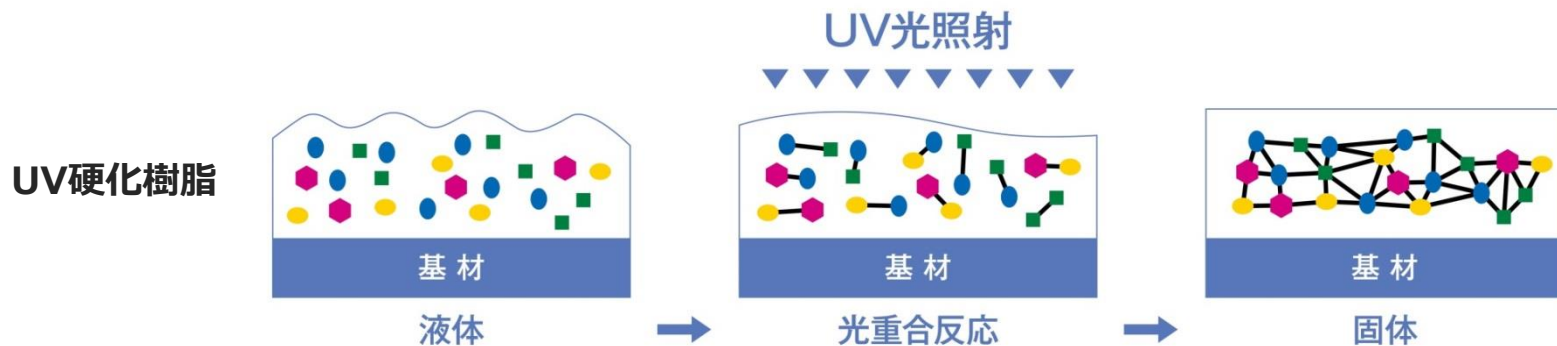
電子部品の接着

■ 液晶と基板の接着

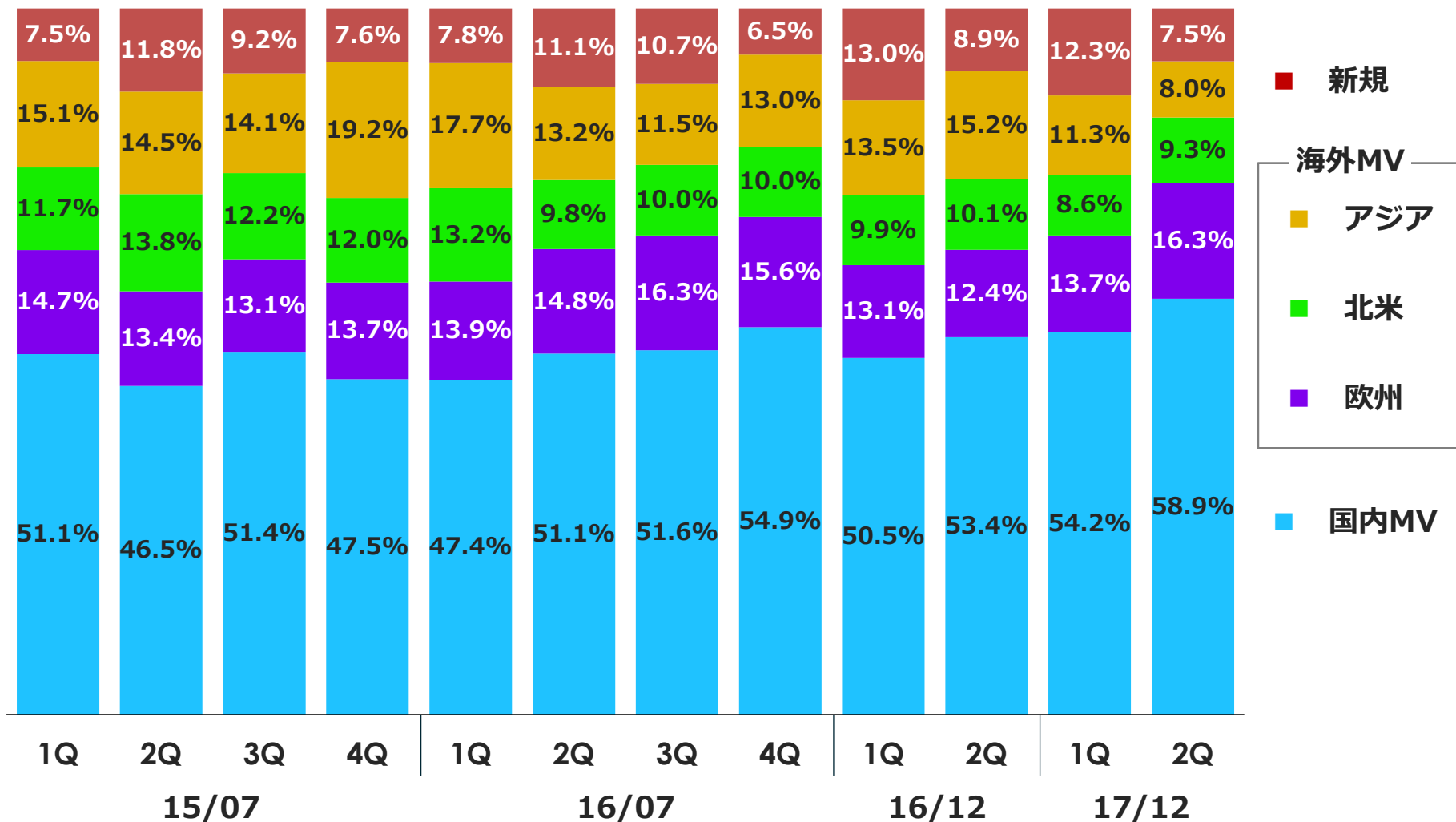


■ UV硬化の原理

UV（紫外）エネルギーを利用して、液体から固体に化学変化させる



売上高構成比



※ 決算期の変更に伴い、2016年12月期は5ヶ月（8月～12月）の変則決算

設備投資・減価償却・研究開発費の推移

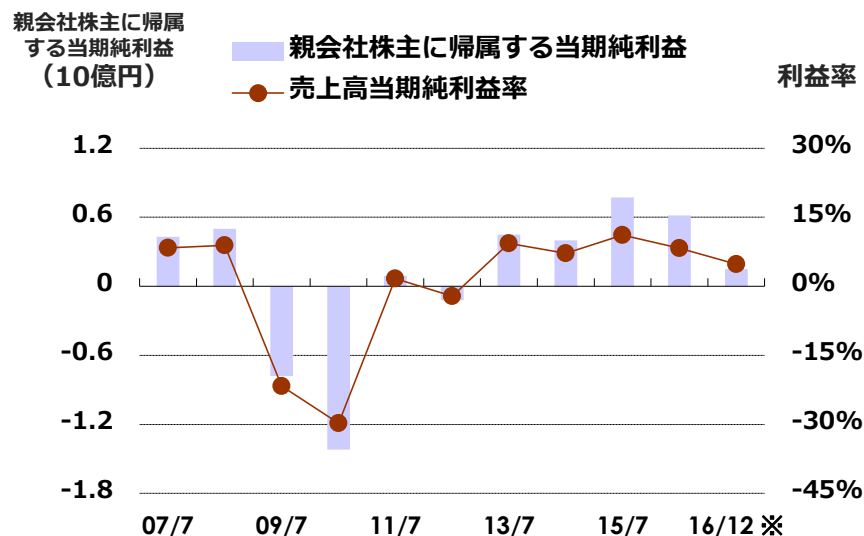
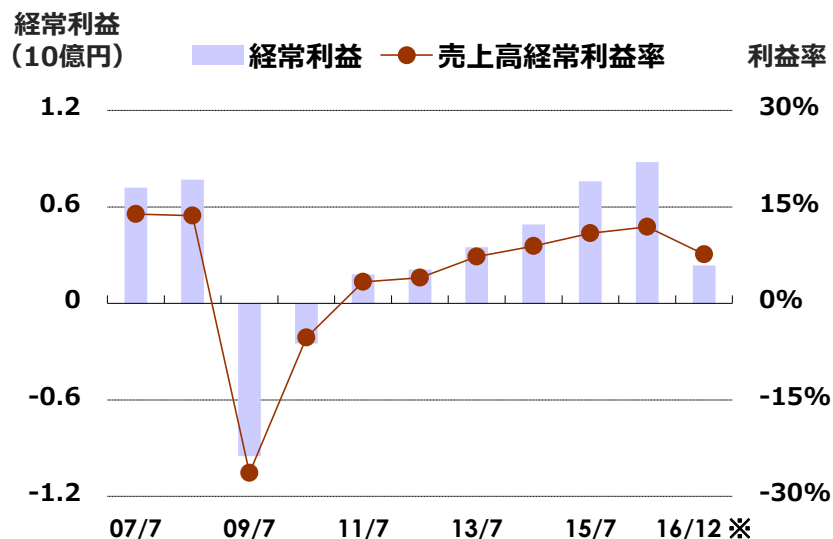
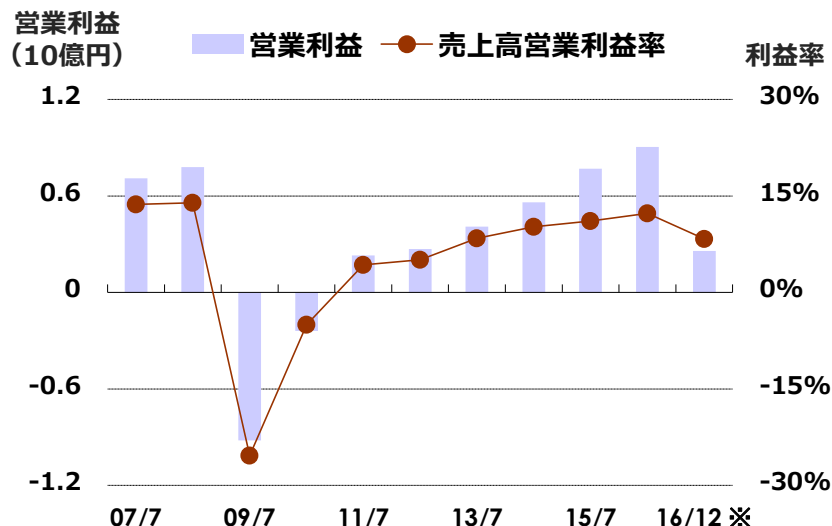
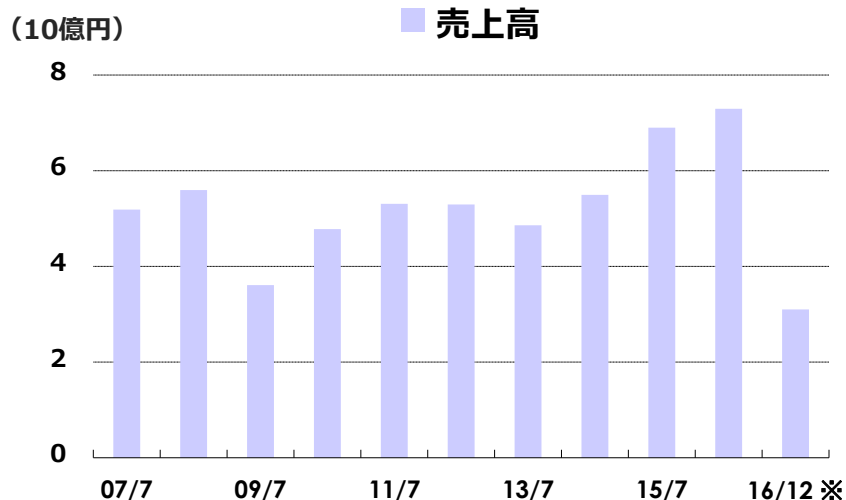
(単位：百万円)

	15/07 通期実績	16/07 通期実績	16/12 ※ 通期実績	17/12 2Q実績	17/12 通期計画
設備投資	153	183	117	134	320
有形固定資産	108	145	111	113	197
無形固定資産	44	38	6	21	123
減価償却	164	158	65	91	250

	15/07 通期実績	16/07 通期実績	16/12 ※ 通期実績	17/12 2Q実績	17/12 通期計画
研究開発費	486	545	243	307	689
対売上高比率	7.0%	7.4%	7.9%	6.8%	8.4%

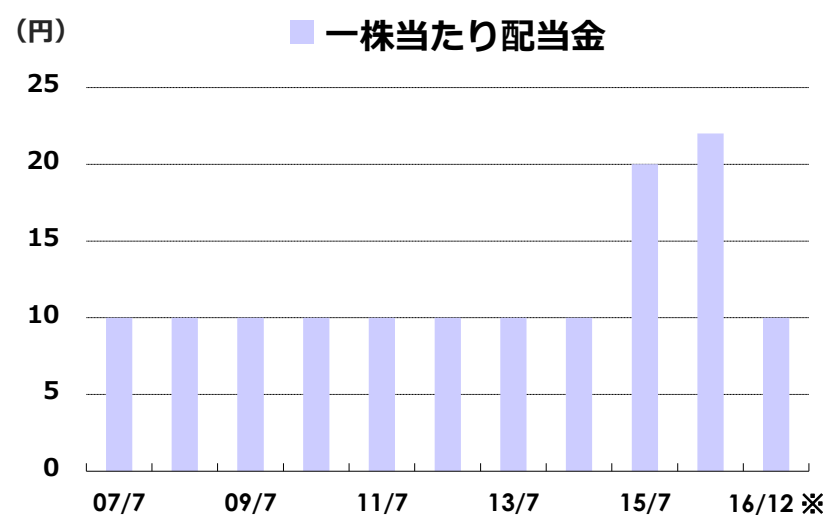
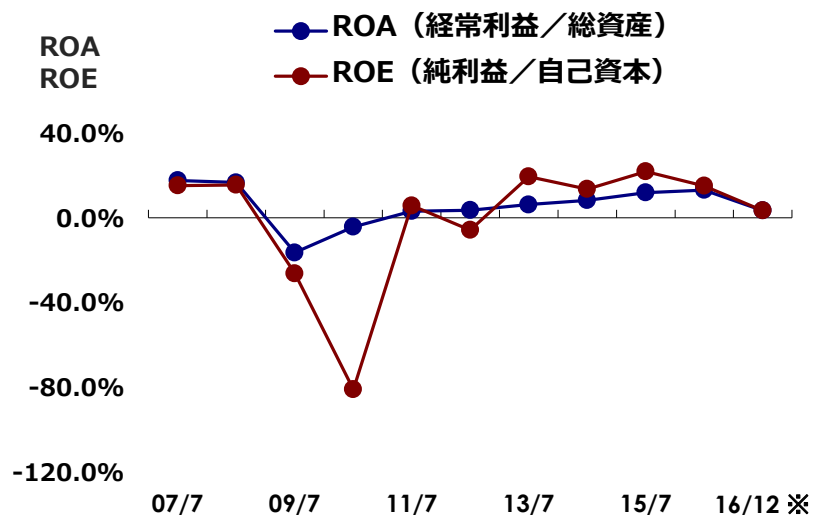
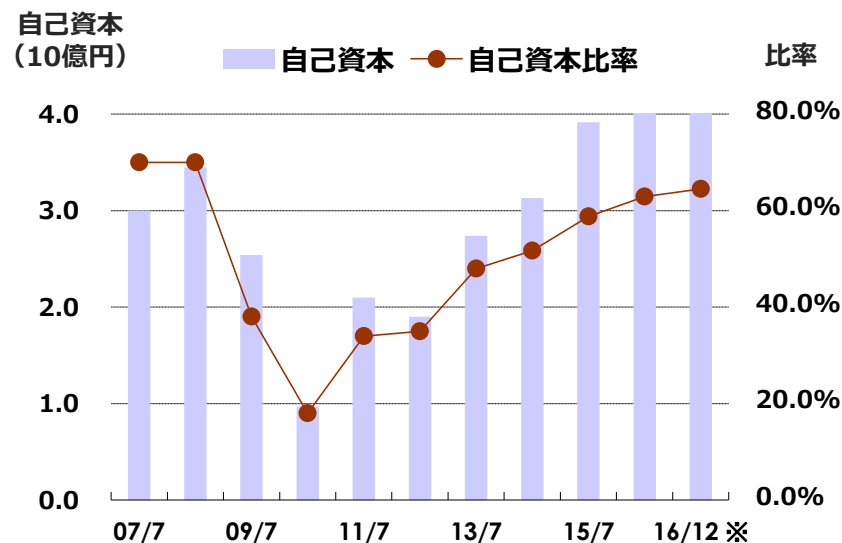
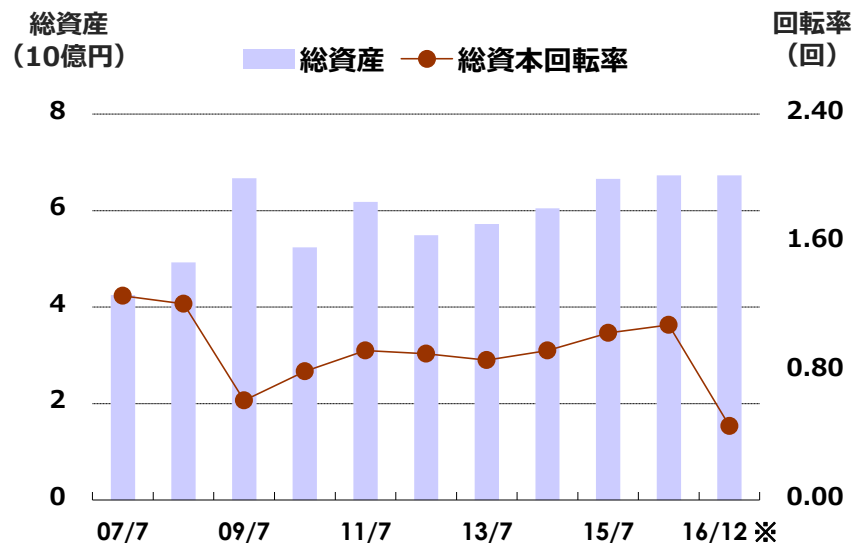
※ 決算期の変更に伴い、2016年12月期は5ヶ月（8月～12月）の変則決算

業績・財務指標の推移①



※ 決算期の変更に伴い、2016年12月期は5ヶ月（8月～12月）の変則決算

業績・財務指標の推移②



※ 決算期の変更に伴い、2016年12月期は5ヶ月（8月～12月）の変則決算

本資料取扱い上のご注意

本資料は投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料に記載されている計画、見通し、戦略につきましては、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、様々な不確定要素が内在しています。実際の業績は経営環境の変化等により、これら見通しと大きく異なる可能性があります。

本資料に関するお問合せ

シーシーエス株式会社 IR担当

TEL : 075-415-8291

FAX : 075-415-7724

E-mail : ir@ccs-inc.co.jp